

2026 年 8 月 31 日
みずほ信託銀行株式会社

株式給付信託《J-ESOP Next》の取り扱い開始について

みずほ信託銀行株式会社（取締役社長：笹田 賢一、以下「みずほ信託銀行」）は、上場をめざす企業が上場前から導入できる従業員向け株式インセンティブ制度「株式給付信託《J-ESOP Next》」（以下「本商品」）の取り扱いを本日から開始しました。

本商品は、上場準備段階からインセンティブ制度の運用を開始し、上場後に株式を給付することで、上場に向けた従業員の意欲醸成と中長期的な企業価値向上を後押しするものです。なお、上場をめざす企業が上場前から導入できる株式給付信託の取扱いは、信託銀行において本邦初です。

近年、上場をめざす企業では、企業の成長を支える人材の確保・定着や、企業価値向上に向けたインセンティブ設計への関心が高まっています。こうしたなか、企業の成長段階や人材戦略に応じて、より柔軟に制度を設計したいというニーズも広がっています。

こうしたニーズを踏まえ、みずほ信託銀行は、上場をめざす企業が非上場期から上場後までを見据えて活用できる新たな株式インセンティブ制度として、本商品の提供を開始しました。本商品の主な特長は以下のとおりです。

■本商品の主な特長

1. 上場をめざす段階から導入可能

非上場期から制度運営を開始し、上場後に株式等を給付することで、上場に向けた意欲醸成につなげます。

2. 人材戦略に応じた柔軟な制度設計が可能

勤続年数や貢献度等に応じた設計が可能で、企業ごとの人材戦略に沿った運用が実現できます。

3. 既存の制度を補完する新たな選択肢

既存の株式インセンティブ制度に加え、対象者設定や上場後の成果還元のあり方に柔軟性をもたせたいというニーズにもご活用いただけます。

みずほ信託銀行は、〈みずほ〉の「ともに挑む。ともに実る。」のパーパスのもと、本商品の提供を通じて、上場をめざす企業の人材戦略と成長戦略を上場前から上場後、その先まで中長期的に支援していきます。

■株式給付信託《J-ESOP Next》の概要



以 上